



東京国立博物館の

国宝
大神社展
について

に教えて
もらおう!



池田先生
丸山先生



重文 松崎天神縁起絵巻(部分) 山口・防府天満宮蔵 展示期間 5/8～6/2

このジュニアガイドは「国宝 大神社展」の鑑賞の手引きとして
小学校高学年から高校生を対象に作成しました。

国宝 大神社展

会 期 2013年4月9日(火)～6月2日(日)

開館時間 9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)
(ただし会期中の金曜日は20:00まで、土・日・祝・休日は18:00まで開館)

休 館 日 月曜日
(ただし4月29日(月・祝)、5月6日(月・休)は開館、5月7日(火)は休館)

観覧料金 一般 1500円(1200円) 大学生 1200円(900円)
高校生 900円(600円)

※()内は20名以上の団体料金 ※中学生以下無料
※障がい者とその介護者一名は無料 入館の際に障がい者手帳などをご提示ください

主 催 東京国立博物館、NHK、NHK プロモーション
特別協力 神社本庁
協 力 千年の森フォーラム
協 賛 あいおいニッセイ同和損保、大日本印刷、トヨタ自動車、三菱商事

展覧会公式ホームページ <http://daijinja.jp/>
お問合せ ハローダイヤル 03-5777-8600

博物館でのルール

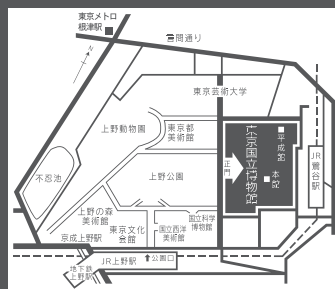
作品を大切に守り、伝えるために協力してください

作品にはさわらず、目で楽しもう

ゆっくり歩いて静かに見よう

展示室ではエンピツを使おう

飲食は決められたところで



TNM TOKYO NATIONAL MUSEUM

東京国立博物館

ウェブサイト
<http://www.tnm.jp/>

JR上野駅公園口、または鶯谷駅より徒歩10分
東京メトロ銀座線、日比谷線、千代田線、丸の内線より徒歩15分
京成電鉄京成上野駅より徒歩15分

ジュニアガイド制作：東京国立博物館、NHK デザイン：STUDIO 仕組



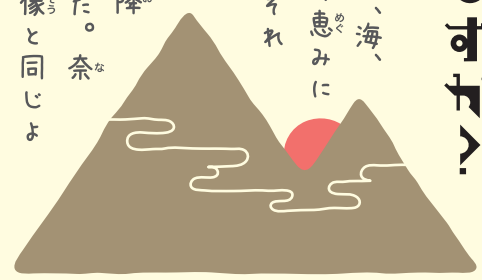
これまで、これからも **NHK TV 60**

日曜美術館

Eテレ 毎週日曜日 9:00～10:00
(再) 翌週日曜日 20:00～21:00
※アートシーンのみあざ放送と同一

一。神は姿がなまって
ぼんとうです。?

大昔の日本。人びとは太陽や山、海、
滝などの自然に神を感じ、その恵みに
感謝すると同時にその力をおそれ
ていました。このような力を
持つ神の姿は目には見えな
いもので、山や木、岩などに降
りてくると考えられていました。奈
良時代に仏教が広まると、仏像と同じよ
うに神像がつくられるようになりまし
た。



神社のことば

しゃへん【社殿】神社にある建物のこと。本殿・
幣殿・拝殿などがある。

しんぼく【神木】神が宿ると考えられているあ
りがたい木。神社の境内などに昔からある大き
な木であることが多い。注連縄が張られること
もある。

しんわ【神話】神にまつ
わる物語。『古事記』『日
本書紀』『風土記』など
の本に書かれている。

よりしろ【依代】神が宿
ると考えられている鏡や櫛などのこと。



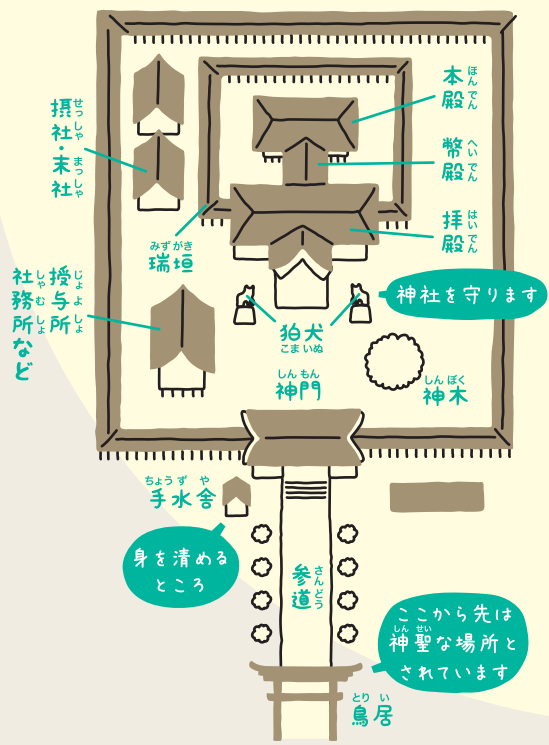
注連縄の張られた神木

一。神社ってどこな
ところですか？

神をおまつりする場所。
神社の奥の本殿には神
が大切にまつられてい
ます。日本にはたくさ
んの神（八百万の神）
がいると考えられてい
て、多くの神社があ
ります。

神

社ってどこなところ



まつりって何ですか？

まつりは神に平和や豊かな実りを願う祈り、感謝する大切な行事。食べ物やお酒などをお供えして、神にお願いや感謝をします。それから次第に、神の前で能や舞楽などを舞ったりするようになりました。



ほうこくさいれいずびょうぶ 重文 豊国祭礼図屏風(部分) 狩野内膳筆 京都・豊国神社蔵
展示期間 5/8～6/2

豊臣秀吉の7回忌に行われた盛大なまつりを描いた屏風。方広寺の大仏殿の前に立てられた風流傘のまわりを町の人びとが輪になって踊る風流踊りは、まさにまつりのクライマックス。



神の前で雅楽(がく)にあわせて踊る舞楽(ぶがく)では、龍(りゅう)の頭の上には龍をのせ、ギョロツとした目が動き、あごが紐(ひも)でつられて、不思議な表情(へいしやう)が特徴(とくとう)的(てき)だ。神にささげられる舞(まい)で使うお面(おもて)は意外(いがい)にユニーク(ユニーク)です。

ふがくめん りやうおう 舞楽面 陵王 天野社伝来
東京国立博物館蔵
展示期間 4/9～5/6



探してみよう！

にぎやかなおまつりに集まった人びとの衣装にも注目。たけのこのような衣装のひとは見つかりましたか？
他にもお魚を持ったひと、逆立ちをするひと、外国のひとを探してみてください。



かりぎぬ 重文 狩衣
こんじしろさぎあしもよう 紵地白鷺葺模様

神にささげる能(のう)で使(もち)われ刺(さ)した衣装(いしやう)。水辺(みづべ)の葦(あし)や鷺(さぎ)の羽(は)をデザイン(デザイン)です。どの役(やく)を演(えん)じるの(の)でしようか？

かすが 岐阜(本巣市)・春日神社蔵
展示期間 5/8～6/2

神にささげたもの



やまのかみいせきしゅつどひん 山ノ神遺跡出土品
東京国立博物館蔵

山の神にささげたもの。古墳時代の遺跡から発掘されました。土でつくられたいろいろな道具のミニチュアです。何に使う道具でしょう？まな板や臼、杵もありますね。

まだ神社がない時代、どのように神をまつっていたのですか？



池田先生

神は山や木、石などに降りてくると考えられ、神にお供えものがささげられました。神社ができると、神が使うと思われるものをおさめるようになりました。それは次のページでご紹介します！

五。古神宝

神社は神の住まいと考えられました。住むためには、着るものも、身のまわりのもも必要です。神社では神が必要とすると思われるものを特別につくり、ささげてきました。これらを神宝といい、役目を終え、その後も長く伝えられたむかしの神宝のことを古神宝といえます。

美しい武具

目をこらしてよく見ると、鳥や笹、岩のようが見えるはず。この平胡籬に書かれた文字や記録から、平安時代の貴族・藤原頼長がささげたものだとわかります。



国宝 紫植地螺鈿平胡籬
奈良・春日大社蔵
展示期間 4/9 ~ 5/6

矢をさして、持ち運ぶためのケース。の腰につけて使いました。



ひらやなくい
平胡籬

特別なまよう

室町将軍・足利義政がささげたという衣はもように注目。よい世の中だと桐の木にあらわれるといいます。鳳凰は話にもとづく桐竹鳳凰は天皇の衣にも用いられる特別なまよう。どうして神宝にもあらわされたのでしょうか？



重文 表着 萌黄地小葵桐竹
鳳凰模様二階織物
愛知・熱田神宮蔵
展示期間 5/8 ~ 6/2

とても豪華で美しいのはどうしてですか？



池田先生

神のためのものだからです。王朝貴族の道具に似せ、超一流の職人の技術と最高の材料で作ったようです。神宝は新しいものと交換されることがあります。交換されたあとの古神宝が長く残ることはめずらしいんですよ。さて、これらをささげられた神の姿については丸山先生に教えてもらいましょう。



たちばなまきえてばこ
ないようひん
国宝 橘時絵手箱および内容品
和歌山・熊野速玉大社蔵
展示期間 4/9 ~ 5/6



キラキラした箱

とてもきれいな箱。近づいてみると輝く貝を貼っていたり(螺鈿)、金が少し盛りあがっていたり(高時絵)、金の粉が散らしてあったり(梨地)。いろんな技で飾られています。なかには鏡、毛ぬき、眉をかく道具などが入っています。さっと女性の神にささげられたのでしょうか。

国宝

七支刀

奈良・石上神宮蔵

展示期間

4/9

5/6

教科書でもおなじみの宝物

七支刀



宝物

真ん中の1本とあわせ、7本の枝がのびているような不思議な七支刀。刀に金で書かれた61の文字によると、いまから1600年以上前に中国でつくられ、朝鮮半島にあった国・百濟(くだら・ひゃくさい)の王から日本の王に贈られたものと考えられています。

六。神像

みかた

神像は、神の姿を彫刻や絵にあらわしたものの。京都の松尾大社に伝わる3体の神像を例に見てみましょう。どれも木で造られ、だいたい等身大。

着ているものは男神も女神も、平安時代の身分の高い人たちの衣装です。3体とも手先は見えませんが、もととは何かを持っていたようです。3体の共通点をいくつか紹介しました。では違うところを探してみましょう。

発見！

細かな違い

冠からたれる布を背中にならすか、前にたらすか。
細かい違いを探してみてください。



注目！

年齢の違い

顔が丸くて若々しい神像と、しわがあって厳しそうな神像。

ひげの長さも違う。

たしかに年齢がずいぶん違うようです。

何歳くらいに見えますか？



重文 だんしんざそう 男神坐像 京都・松尾大社蔵



重文 だんしんざそう 男神坐像 京都・松尾大社蔵

ひび割れているのはどうしてですか？



丸山先生

仏像を造るときにはひびが入ったりしないように木の節の部分を使わないなどの工夫をしますが、神像ではそういう工夫をしないことが多いからです。木そのものも神のように神聖なものと考えたのかもかもしれませんね。

注目！

男女の違い

仏像では男女の性別の表現はしませんが、神像には男女の像があります。長い髪、ふくよかな顔と体も女性らしい表現です。顔の色の違いにも注目して下さい。



重文 じょしんざそう 女神坐像 京都・松尾大社蔵

神像の特徴はありますか？

いくつかあります。

まず、ひとつの材でつくることが多いですね。脚の幅や奥行きがせまくて、比較的小さな像も多いんです。衣のひだが表されなくていくのも特徴ですよ。

つくられた時代をおって見てみると、神像の特徴が少しずつできていくのがわかると思います。



丸山先生

比べてみました！

指の見え方や衣のひだの表現は違いますが、どちらも手に笏しやくという細長い板を持っています。松尾大社の男神坐像も笏を持っていたのかもしれませんが。比べてみるといろいろなことに気づきます。



けつ み このおおのみぎぞう
国宝 家津美御子大神坐像
くまのはやまたいしや
和歌山・熊野速玉大社蔵



すがわらのみちざねぞう
重文 菅原道真坐像
うえの
滋賀・上野神社蔵



かすがしんろくみしようたい
重文 春日神鹿御正体
ほそみびしゅうかん
京都・細見美術館蔵

神？仏？

日本に昔からいた神と、大陸から伝わった仏教の仏や菩薩ぼさつは、じつは一体なんだという考え方がひろまりました。だから、春日大社の使いの鹿の背の木に描かれた5体の仏も神なのです。

初公開の神像



ぶ そうしんざそう
武装神坐像 奈良・勝手神社蔵

日本のよろいを着ているめずらしい像。

比べてみよう！

しわなどで表す年齢の違いのほか、髪型や衣で身分の違いも表されているようです。じっくり見てみましょう。



じょしんざそう どうじょりゅうぞう なんぐう
女神坐像、童女立像 広島・南宮神社蔵

最近発見された神像



はちまんしんざそう みつきはちまんぐう
重文 八幡神坐像 広島・御調八幡宮蔵

脚の奥行きがほとんどありません。衣のひだはありません。

お寺に神像？

神像はお寺でもまつられています。この像は仏像などとは雰囲気の違い細かい目か特徴です。



じょしんざそう
国宝 女神坐像
とうじ きょうおうこくこじ
京都・東寺（教王護国寺）蔵